



## うみ なみ 海の波はどうしてできるの

### なみ かぜ 波は風によってできる

かいがん では、くりかえし波がうちよせたり、ひいたりしています。かぜがふいているとき、おきの方からおしよせてくる波がよく見えます。

うみ うえをふくかぜによってすいめん でこぼこができて、それが波になります。たいふうが近づいてきたり、かぜが強いときは、波が大きくなります。波が大きくなるのは、かぜのはたらきが大きくなるからです。

### なみ げんいん かぜ 波ができる原因は風のほかにもある

かぜのほかに、なみができる原因には、1日に約2回起こる潮の満ち引き、たいふうや低気圧によって起こるたかしお かいめん(海面がいつもより高くなる)、それに、かいていじしん(海底地震)が起こすつなみ(津波)などがあります。

### なみ とお つた 波は遠くまで伝わる

なみ かたちをみていると、なみ うごかのように見えますが、かいすい うご じょうげ えんうんどう(海水の動きは上下に円運動をしているだけです。この円運動がとなりの海水に次々と伝えられ、波になって動いてくるように見えます。

なみ う 波打ちぎわにかぜがふいていなくても、うみ うえのどこかでは、いつもかぜがふいています。そこでできた波が岸まで伝わってきます。(監修・国司 真)

